

# さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.928  
2021.8.22

発行

日本共産党さいたま市議会議員団  
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165  
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき とば めぐみ  
とりうみ敏行 金子 あきよ  
松村 としお たけこし 連  
久保 みき

## 生活保護費の不正支出問題で 決議あがる



総合政策委員会で決議（案）を読み上げる  
久保市議

今年2月、桜区の生活保護担当の職員が、生活保護利用者（1世帯）に対して総額1271万円も不正に支出したことが明らかになりました。この職員は、査察指導員という職権を乱用し「課長には言っている」などと他の職員に偽って、課長印がないまま書類を通す不正をおこないました。さいたま市は事件発覚後、プロジェクトチームを設置。事件を調査し、中間報告をまとめました。さらに6月議会には、中間報告を受けて再発防止の提言をおこなうことを目的とした第三者委員会を設置するという議案が出されました。

総合政策委員会における審議に参加した久

保みき市議は、「中間報告では、なぜ職員がこのような行為に及んだのか、動機については不明のまま。また、お金を受け取った当事者とお金を渡していた職員との意見に食い違いもある。どんな関係だったのかが明らかにされなければ、この事件は解決しない」という立場で質疑をおこないました。そして委員会として、「事案の全容が明らかになった際には、改めて第三者委員会を設置するなど、二度と本件のような不適切な事務処理がおこなわれることがないよう、十分に検証することを強く求める」という付帯決議をまとめ、議会最終日に全会一致で決議があげられました。

市は、不正支出された総額（1271万円）を当該職員に返還請求し、全額返還されたとのこと。また、当該職員は懲戒免職となりました。久保市議は「実効性のある再発防止策の徹底を求める」と述べました。

### 6月議会



## 地下鉄7号線延伸見直せ 身近な交通政策の 充実求める

バスは違う」と拒否しました。

清水市長はこれまでも「将来は人口が減少し市の財政が厳しくなる」と繰り返し強調し、「持続可能な制度にするため」と高齢者や障がい者の支援制度を切り捨ててきました。その一方で「将来をみすえて積極的にとりくむ」と地下鉄7号線延伸や大宮駅グランドセントラルステーション化構想、市役所移転と跡地開発構想など大型開発を推進しています。

大型公共事業による巨額の負担を見通しも示さず市民に押し付け、福祉や教育を削減・抑制する市政の基本姿勢から見直すことが必要です。

埼玉県とさいたま市は地下鉄7号線を浦和美園駅から岩槻駅（東武線）まで延伸する計画を進めています。公共交通機関の充実が生活の便利さにつながりますが、計画が長期間進んでいません。その理由のいちばんは市民負担が巨額なことにあります。

6月議会の代表質問で松村としお市議がこの問題を取り上げました。市が試算した建設費870億円に地質調査や設計費、埋蔵文化財調査費などが含まれていないこと、地下鉄乗客を増やすための「成長・発展プラン」にこれまで約700億円、今後300億円見込んでいることが明らかになりました。さらに延伸区間の「中間駅」関連費用はいまだ不明です。松村市議は市民負担の認識を質問。副市長は「非常にお金がかかる」「巨額のプロジェクト」と答弁し、市民負担が大きくなることを事実上認めました。さらに開通時期も質しましたが答えられませんでした。松村市議は地下鉄延伸計画を見直し、コミュニティバスなど身近な公共交通を全市的に充実させることを提案。副市長は「延伸は意義がある」「鉄道と

### 6月議会報告動画をご覧ください

YouTube 日本共産党さいたま市議団 検索

2021年6月議会報告

### エアコン設置費助成 夏季加算を求めて

日本共産党さいたま市議団  
とばめぐみ（見沼区）

エアコン設置費助成  
夏季加算を求めて（とばめぐみ市議）



# 新型コロナ 対策

## 国へ予算措置求める



国への予算要望に参加する市議(3列目左)

8月5日、参議院議員会館でおこなわれた2022年度の国への予算要望・陳情活動に、とばめぐみ市議が参加しました。

新型コロナ対策に関する大規模PCR検査や迅速なワクチン接種のための予算措置、保健所や衛生研究所等の体制強化をはじめ、公的・公立病院の統廃合の中止、少人数学級の早期実現、学校トイレに恒常的に生理用品を

配置する予算措置等、要望は多岐にわたりました。

とくにワクチン接種の問題では、国が自治体に接種を急がせながら、ワクチンの供給量が減少したことで本市にも大混乱を招きました。必要な供給数を国が責任をもって確保し、配給スケジュールの明確化や、供給不足で生

じた会場や人件費等のキャンセル料は全額国が負担することを求めました。

また国からの予算措置が打ち切られ、今年度は小中学校にスクールサポートスタッフが配置されず、校内の消毒作業など教職員に多大な負担がかかっていることから、早急に再配置のための予算措置を要望しました。

## 久保みきが行く! 油面川排水機場 浸水対策を急いで



大雨が続いて、全国各地で大きな被害が出ています。さいたま市も2019年の台風19号で被害を受け、なかでも桜区は甚大な被害を受けました。特に桜田・新開地域の浸水被害は深刻でした。

浸水の原因のひとつとして、桜田・新開地域を流れる準用河川「油面川」があふれたことがあります。市は水害対策として、以前から計画していた「油面川排水機場」の整備を前倒しでおこない、来年夏までには完成予定です。しかし、この排水機場が整備されても一部地域では浸水すると予想されています。

そこで市は、昨年1年間かけて油面川排水機場整備の効果についてシミュレーションをおこない、7月によろやくその結果を報告しました。排水機場が整備されると床上浸水で97%、床下浸水で81%が軽減されるものの、浦和総合流通センター(桜田)周辺を中心に浸水してしまうことが明らかになりました。私は、「すべての地域が浸水しないように、早くあらたな治水対策を構築するべき」と要望しました。

### 公務非正規労働者

## 「将来が不安」9割以上

7月17日、公務非正規労働者への緊急アンケート調査オンライン報告会(主催:公務非正規女性ネットワーク「はむねっと」)に、とばめぐみ市議が参加しました。

調査は、2019年4月から2021年4月の在職者を対象に、1300超の回答が寄せられ、9割が女性でした。公務非正規労働者は、住民と直接かわり生活に密着する業務が多いにもかかわらず、その声が行政施策に反映されていない実態が報告されました。多くは単年度の雇用で不安定な身分、年収200万円未満が5割超、9割以上が「将来が不安」と回

答しています。

昨年4月に導入された会計年度任用職員制度は、一時金を支給する代わりに月額賃金を削減し、3~5年の任用制限を設ける自治体が相次ぎ、不安定雇用が続いています。

とば市議は「本市でも会計年度任用職員はあらゆる部署に配置されている。正規職員が担う仕事を任されながら、不安定な身分で継続性が求められる重要な業務を担っている。住民の暮らしに密着した業務は、正規職員に転換していくべき。今後も議会で求めていきたい」と述べました。

### あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連